

2021年10月22日

東急不動産ホールディングス株式会社

GRESB 2021 年評価結果について

GRESB リアルエステイト評価「4 スター」を取得

GRESB 開示評価は 5 年連続最上位「A」を取得

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典、以下「当社」）は、この度 GRESB リアルエステイト評価に参加し、評価を受けましたのでお知らせいたします。

GRESB リアルエステイト評価で既存物件運用に関わる「スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」で4 スターを取得しました。また、ESG 推進のための方針や組織体制などを評価する「マネジメント・コンポーネント」と保有物件での環境パフォーマンスやテナントとの取組等を評価する「パフォーマンス・コンポーネント」の双方において優れた参加者であることを示す「グリーンスター」の評価を初参加の前回より引き続き獲得しました。

また、GRESB 開示評価は 5 年連続で最上位「A」評価を受けており、2021 年評価では 99 点（100 点満点）のハイスコアを取得いたしました。



GRESB は、不動産会社・ファンドの環境・社会・ガバナンス（ESG）配慮を測る年次のベンチマーク評価であり、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に 2009 年に創設されました。投資先の選定や投資先との対話に GRESB データを活用する投資家メンバーは、現在 140 機関に上り、日本でも、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめ、複数の機関が投資をする際の指標として GRESB 評価結果を利用しています。2021 年に実施された GRESB リアルエステイト評価には、世界で 1,520 の上場・非上場の不動産会社・ファンドが参加しました。

評価制度の詳細は、GRESB ウェブサイトをご覧ください。【URL】<https://gresb.com>

今回の評価は、サステナブルな企業として、当社の ESG への取り組みのポリシー、リスク管理、ステークホルダーとのエンゲージメントのほか、保有アセットの環境性能を評価いただいた結果ととらえております。

当社グループでは長期ビジョン「GROUP VISION 2030」における取組みテーマの一つに「サステナブルな環境をつくる」を掲げており、引き続きステークホルダーとともにサステナブルな社会と成長を目指します。

■ その他 当社が選定されている代表的な ESG 投資指数

- ・ FTSE4Good Index Series

ロンドン証券取引所のグループ企業である FTSE Russell 社により開発された株式指標。2010 年以降、2021 年まで、通算 12 年連続(※1)で選定されています。

(※1)東急不動産株式会社として 2010 年～2013 年まで 4 年連続選定、東急不動産ホールディングス株式会社設立後、2014 年～2021 年まで 8 年連続選定。

- ・ Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

米国の S&P Dow Jones Indices 社とスイスの RobecoSAM 社が提携して開発した指標。

2012 年以降 2020 年まで、通算 9 年連続(※2)で選定されています。

(※2)東急不動産株式会社として 2012 年～2013 年まで 2 年連続選定、東急不動産ホールディングス株式会社設立後、2014 年～2020 年まで 7 年連続選定。2021 年選定は未発表です。

■ 東急不動産ホールディングスグループの ESG への取り組みについて

<http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/csr/>

■ 東急不動産ホールディングスグループ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>